

佐賀大学医学部附属  
看護学教育研究支援センター

—地域の看護職の質向上をめざして—

令和 2 年度年報

# Contents

## 令和2年度看護学教育研究支援センター事業報告

教育研究実践支援部門	・・・・・・・・・・	1
人事交流支援部門	・・・・・・・・・・	4
国際交流支援部門	・・・・・・・・・・	4
センター関連の研究業績	・・・・・・・・・・	4

教育研究実践支援部門は、部門責任者を含め、医学部看護学科教員 12 名と佐賀大学医学部附属病院看護師 1 名が担当している。本部門では、佐賀県内で教育・指導、研究、実践に携わっている看護職を対象に、研究支援と継続教育を行った。また、研修会等の講師として、地域の看護職のレベルアップに貢献した。令和 2 年度の支援状況について報告する。

#### (1) 継続教育としての実践レベルアップ研修

継続教育プログラムでは、小児在宅医療（在宅医療、在宅支援、訪問看護師養成など）を中心に 6 つの研修（WEB 開催 2 回含む）を実施し 224 名への支援を行った。また、佐賀県糖尿病コーディネート看護師の育成研修では、3 名の糖尿病コーディネート看護師を育成した。看護部主催では、スキルアップ研修は新型コロナ対応のため開催できなかったが、専門看護師による研究支援 6 件（6 人）、学習会 4 件（51 人）を行った。

さらに現場の求めに応じて、看護学科の教員や医学部附属病院看護部の看護師が病院や学校、看護協会、保健福祉事務所、警察、佐賀県などへ出向き、研修や講演などの講師を務めており、今年度の講師の派遣は 122 件となった。

平成 28 年、29 年度に佐賀県健康福祉部と連携し開発した 4 つの自己学習支援（e-learning）教材「感染対策」「フィジカルアセスメント」「心肺停止状態への対応」「脳神経系異変への対応」は、令和 2 年 10 月より申し込み手続き無しで自由に閲覧できるようにし、看護協会・医師会・教育機関などに周知し、活用を促した。

#### (2) 研究支援

研究支援については、佐賀大学附属図書館の協力のもとで、申請者が研究に必要な文献を活用できる環境を継続して整えた。研究支援の申請があれば、申請目的に応じて、その分野に最もふさわしい教員を決定し、研究計画書の作成から学会等での発表まで、マンツーマンで指導している。

研究支援状況は令和 2 年度の新規受け入れはなく、平成 29 年度からの継続支援 2 件、令和元年度からの継続支援 4 件に対応した。申請施設数は、平成 29 年度および令和元年度からの継続分 2 施設であった。研究支援のうち、全国規模の学会発表が 1 件であった。

### (3) 講演会の開催

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域の医療職対象に、オンラインにより「新型コロナウイルス感染症の治療と看護」をテーマに講演会を行った。感染者は増加しており、最新の情報・治療の状況をふまえ、医療者が各施設において取り組むべき視点について学ぶことが出来た講演会であった。

#### 配信期間

令和2年11月2日(月)～11月30日(月)  
看護学教育研究支援センターホームページ限定公開

#### 講演

- ① テーマ：新型コロナウイルスの最新情報  
佐賀大学医学部附属病院  
感染制御部 部長 青木洋介 先生
- ② テーマ：新型コロナウイルス感染症の看護  
佐賀大学医学部附属病院  
感染制御部 副部長 金子ゆかり 先生

佐賀大学医学部附属  
看護学教育研究支援センター  
オンライン講演会  
ご案内

## 新型コロナウイルス感染症の 治療と看護

\*新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、オンラインでの講演会とさせていただきます。

**【講演内容】**

1. 新型コロナウイルスの最新情報  
佐賀大学医学部附属病院 感染制御部 部長 青木洋介 先生
2. 新型コロナウイルス感染症の看護  
佐賀大学医学部附属病院 感染制御部 副部長 金子ゆかり 先生  
(感染管理認定看護師)

**【配信方法】**

- ・佐賀大学医学部附属看護学教育研究支援センター  
ホームページからアクセス  
<https://scerns.med.saga-u.ac.jp/>  
\*スマートフォンからもアクセス可能です



**【配信期間】**

- ・令和2年 11月2日(月)～令和2年11月30日(月)

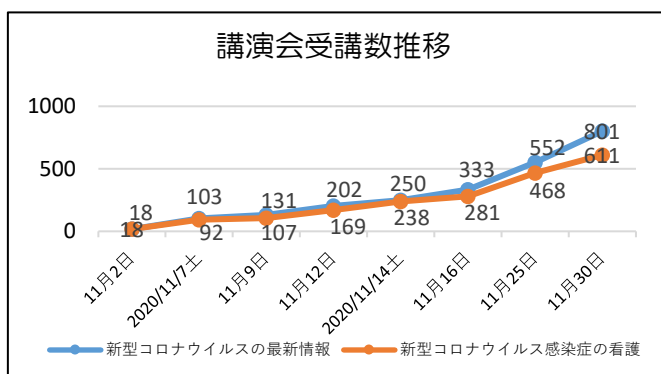
**【主催】**

- ・佐賀大学医学部看護学教育研究支援センター  
センター長 古賀 明美(佐賀大学医学部看護学科 教授)  
副センター長 藤満 幸子(佐賀大学医学部附属病院 看護部長)

**\*問い合わせ先**  
佐賀大学医学部附属病院 看護管理室  
担当: 吉田 ひとみ(副看護部長)  
電話: 0952-34-3333(直通)

#### 受講状況

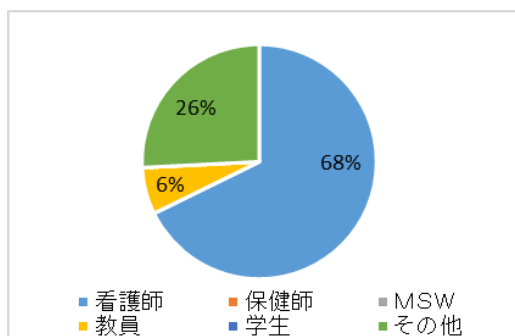


内容	数
古賀センター長挨拶	193
青木先生 「新型コロナウイルスの最新情報」	838
金子師長 「新型コロナウイルス感染症の看護」	638

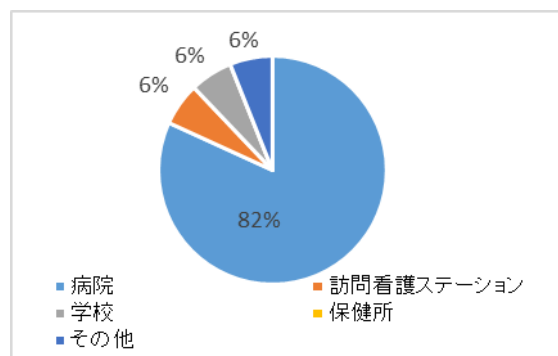
※ 開始後、閲覧は週末に増加し、順調に全体の受講者数は増加した。動画の受講回数を定期的に確認することが系統的に難しく、最終的な受講者数として集計した。

参加者のアンケート結果 31名 : 看護学教育研究支援センターURL上アンケートより

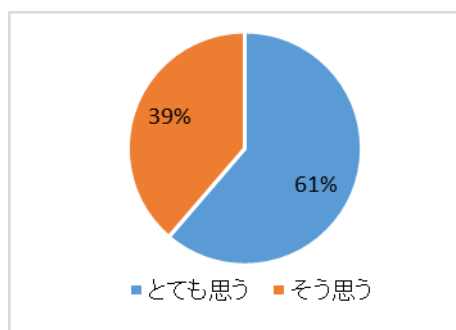
1. 自身の職業について



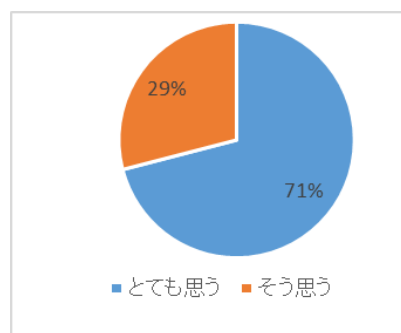
2. 勤務施設について



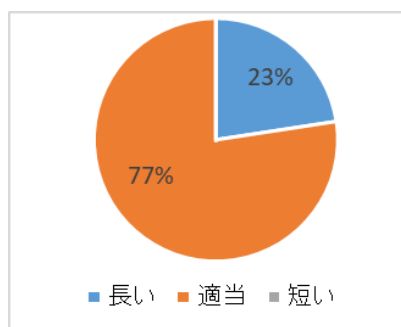
3. 青木洋介先生の講演は、これからの患者さんとのかかわりにおいて参考になりましたか



4. 金子ゆかり先生の講演は、これからの患者さんとのかかわりにおいて参考になりましたか



5. 講演の時間について



6. 今後の企画への内容や要望について

- ・お勉強になりました。ありがとうございます。
- ・人材育成について

※ 受講者数の把握に関しては、同じ方が複数回受講してもカウントが増えるため、確定した受講者数の集計は困難であり、今回のような講演スタイルでは、受講者数の把握に限界がある。ただし、オンライン研修は、対面式の研修と違い、受講者のスケジュール調整が容易で、何度も受講できるというメリットがあり、コロナ禍における研修の企画として必要性が高く、効果的であった。

## 人事交流支援部門

部門責任者 田淵康子

人事交流支援部門は、部門責任者を含めて医学部看護学科教員 7 名と佐賀大学医学部附属病院看護部看護師 1 名の合計 8 名が担当している。本部門では、看護職者相互のキャリア向上を目指して、看護学科・地域の病院・行政機関の間での人事交流を支援している。令和 2 年度は、人事交流について地域の病院より問い合わせはあったものの、COVID-19 の感染拡大の影響により、人事交流を行うことができなかった。

## 国際交流支援部門

部門責任者 藤野成美

国際交流支援部門は、部門責任者を含めて、医学部看護学科教員 4 名と佐賀大学医学部附属病院看護部看護師 1 名の合計 5 名が担当している。平成 27 年 2 月に、看護職の国際交流を推進するために副部門責任者を置き、さらに支援の内容によっては、他部門の教員の協力を得て、支援を行う体制を取っている。

本部門では、看護職や看護学生の国際交流の支援、国際医療協力活動への看護職の派遣などを実施している。以下に、令和 2 年度の主な活動を報告する。令和 2 年度は、COVID-19 の感染拡大の影響で全ての国際交流事業が中止になった。

### (1) 交換留学支援

台湾の輔仁カトリック大学看護学部看護学科との交換留学は、感染拡大のために中止となった。

### (2) 青年海外協力隊に参加した看護師の帰国後の就職支援

佐賀大学の卒業生で、ブラジルでの 2 年間の勤務を終えて帰国した看護師 1 名の就職支援を実施した。

## センター関連の研究業績

学会発表

1. 中村亜希, 寺田恵美 (独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター): A 病院における医療従事者に対する患者からの暴力の実態について. 第 22 回日本医療マネジメント学会学術総会. 2020.10.7. 第 22 回日本医療マネジメント学会学術総会プログラム・抄録, 227

【研究支援: 新地浩一】

## 令和 2 年度年報

### 佐賀大学医学部附属看護学教育研究支援センター

—地域の看護職の質向上をめざして—

---

令和 3 年 3 月 31 日発行

発 行 者：佐賀大学医学部附属看護学教育研究支援センター

〒 849-8501 佐賀市鍋島 5-1-1

発行責任者：センター長 古賀明美

制 作：佐賀大学医学部附属 看護学教育研究支援センター